

# インフラの修繕は？

町長

## 中長期的な事業を検討する



西尾 寿博 議員

【西尾】 高度成長期に建設された道路、橋、耕地整理された田畑、それに付随した水路、道路、また生活インフラでは上・下水道などが、同時期に修繕時期を迎える。

橋梁長寿命化修繕計画、下水道延命化計画の進ちよく状況は。

【町長】 町管理分148橋の修繕について計画をしている。すでに終わっている上野橋がほぼ8000万円、現在進行中の大山橋が、およそ1億円かかる。

50年間は延命をはかれると考えている。今後は年間1〜2橋を順次修繕をしていきたい。

下水道事業については、経年劣化のはげしいものから、平成26年度に設計の着手に向かっている。

【西尾】 上水道、道路、田畑の水路などの今後の修繕計画はどうなる。

【町長】 来年度から交

付税の優遇措置が減っていく。中長期的な各課の事業を検討している。

【西尾】 老朽化した施設、使用しない施設などは、今後どうするか。

【町長】 維持管理に多額の経費がかかると思

われ、撤去などを検討していく必要がある。

【西尾】 修繕にあたっての今後の予算措置は。

【町長】 各年度の財政的な支出がどの程度か、それでやれるのか、いま検討している。



老朽化した橋

# タブレットの利用は？

町長

## 導入は議会と相談する

【西尾】 一般会計の予算書は、200ページ以上あり、目的・対象者・委託料・職員給料など、ばらばらに記載されている。

予算の説明資料をわかりやすくするために、

タブレット端末の利用はどうか。

【町長】 県の事業説明書のようにPDFで取り込んだ形も考えられる。タブレットは、非常に有効なもので議会とも相談したい。



タブレットの導入を